

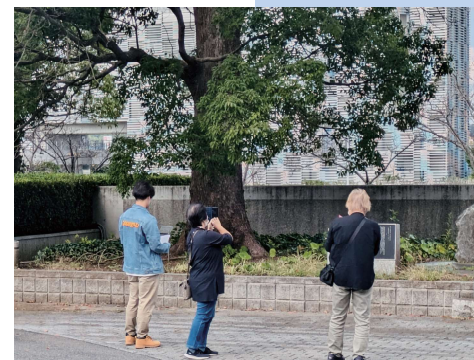
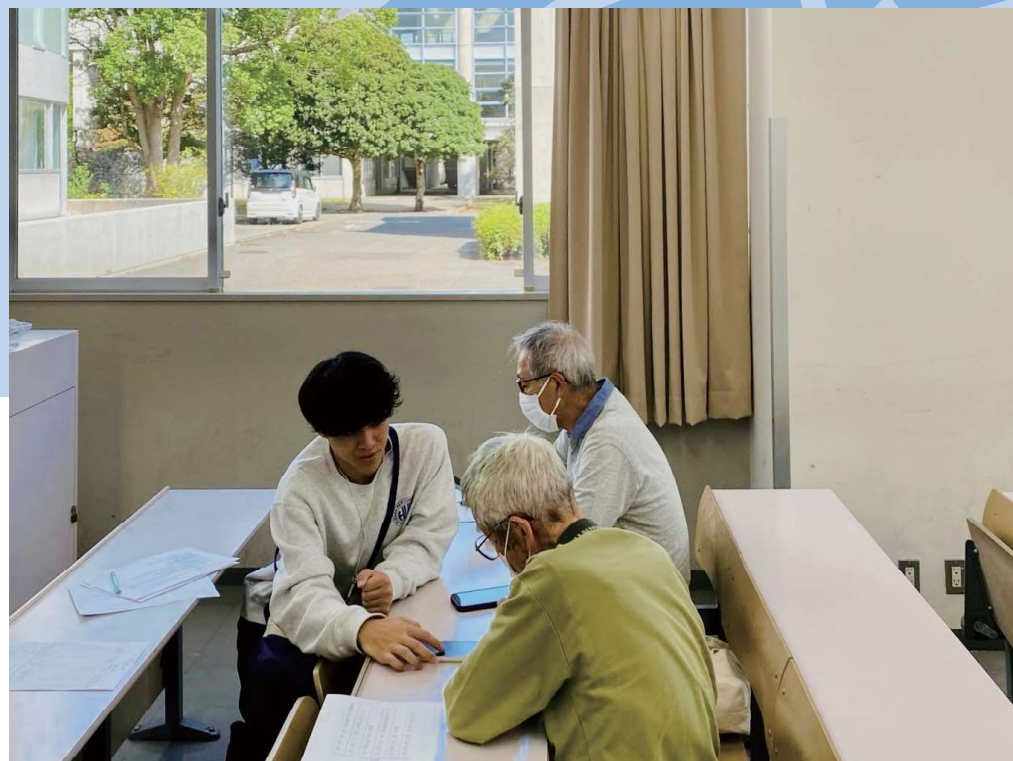
高齢者のデジタルデバйд解消プロジェクト

提供学科：薬学科

○目的：

社会のデジタル化に伴い、多くの高齢者が取り残されており、高齢者のデジタルデバйд（情報格差）解消は社会において大きな問題となっています。

そこで、本プロジェクトでは、インターネットに慣れ親しんだ学生がデジタルデバйдの現状を把握し、さらにデジタルスキルを教えるための知識及び技術を獲得し、高齢者にデジタルスキルを享受することを目的としました。



◎ 実施内容：

- ・外部講師からの講義：
 - ①デジタルデバйдの現状
デジタル庁「デジタル推進委員」の活動について
 - ②スマートフォン教室実演について
 - ③高齢者に対するスマートフォンに関わる利用方法の教え方について
 - ④フィールドワークについて
- ・スマートフォン教室開催準備：
 - ①高齢者に教える内容の検討
 - ②学生間でのスマートフォンの教え合い学習の実施
- ・スマートフォン教室開催：
 - ①LINE、カメラ、Google マップ等の操作方法について
 - ②①を活用したキャンパス内ツアーを開催
 - ③スマートフォン教室開催後、グループ LINE での情報交換の実施（二ヶ月間）

○学びの効果：

学生たちは、高齢者が思った以上にスマートフォンの基本操作に苦労している現状を理解し、教える際には丁寧さと忍耐強さが必要であることを学びました。

また、高齢者が、孫世代の学生たちと関わることで、彼らがより元気になり、学びに意欲的になれることを実感できる機会となりました。

とくに、両者が、グループ LINE での継続的なやり取りを通じて、デジタルスキルの向上だけでなく、高齢者との信頼関係を構築できたことは価値のあることだと考えます。